

No	感染症(PT)	出典	概要
11	C型肝炎	Clin Vaccine Immunol published online doi:10.1128	抗HCV抗体陰性で、肝組織中のHCV RNA検出により潜在性HCV感染と診断された110例の患者由来の血清中のGOR抗体反応性を調べた。抗GOR IgG陽性患者は22例(20%)で、慢性C型肝炎患者での陽性率(70/110, 63.6%)に比べ有意に低かった。HCVに無関係の肝疾患患者120例では抗GOR IgGは全く検出されなかった。市販の検査でHCV特異抗体を検出できず、血清中HCV RNAが検出できない患者で抗GOR IgG検査を行う事は、肝生検なしで潜在性HCV感染を同定する手助けとなりうる。
12	C型肝炎	FDA/CBER 2007年8月 Guidance for Industry	HCV Lookback規則における要求に一致しているFDAの業界向けガイダンスである。血漿および白血球を含む、全血および血液成分を対象としている。HCV感染を示すドナー検査結果に基づいた、製品の隔離、販売受託者への通知、追加検査、製品の処分、およびレシピエントへの通知等について記載されている。
13	C型肝炎	HPS Weekly Report 2007; 41(23): 189-190	イングランドおよびスコットランドの全域の病院におけるC型肝炎患者の症例記録のレビューが実施された。このレビューは、C型肝炎に感染した2人の医療従事者(HCWs)から患者へのC型肝炎伝播が明らかとなったことに端を発する。2005年に実施された2件の再調査は、このようなC型患者5症例を特定した。これらの患者は当該HCWsによって最も侵襲性の高い処置を受けていた。UKAPの勧告を受け、NHSトラストは他の全ての侵襲性のある処置を受けていた患者に通知を行っている。
14	C型肝炎	HPS Weekly Report 2007; 41(31): 258-265	2007年3月31日までのスコットランドにおけるC型肝炎抗体陽性症例のサーベイランスの結果である。2007年1-3月には新規症例385例が診断された。2007年3月31日までの総計は22456例であり、スコットランド人の260人につき約1名がC型肝炎抗体陽性と診断された。全症例の2%(358例)が血液因子の投与に関連していた。
15	C型肝炎	J Med Virol 2008; 80: 261-267	2003年4~10月にイタリアの血液透析施設で患者4名にHCV抗体セロコンバージョンが認められた。この4名と以前からHCV抗体陽性であった10名のHCV RNAおよびHCV遺伝子型を検査し、系統遺伝学的解析をした結果、新規感染患者4名のHCVは遺伝子型2cで、2c型慢性感染患者1名から分離されたウイルスと近縁であった。感染制御手段の不備と装置による伝播が疑われた。
16	C型肝炎	J Pediatr 2007; 150: 168-174	60例のHCV感染小児について臨床的、組織病理学的特徴を調べた。感染時の平均年齢は7.1ヶ月であり、感染期間は平均13.4年であった。感染源は輸血(68%)、周産期伝播(13%)およびその両方(7%)で、大部分の症例は無症候性であった。ALTの平均が正常の3倍以上の割合は13%であった。肝生検標本では、71%に極少または軽度の炎症が見られ、12%に線維架橋が見られた。感染時年齢と血清γGTPは、線維症と相関を示した。合併症がない場合には血清ALTは炎症と相関していた。
17	C型肝炎	Transfusion 2007; 47: 1534-1539	2002年8月28日から2005年2月28日の間にカナダBritish Columbiaのカナダ血液サービス(CBS)に報告された輸血伝播性C型肝炎(TT-HCV)疑い症例について、2002年8月以降実施された公衆衛生局(PH)への届出による影響、ならびにCBSによるHCV遡及(LB)及び追跡(TB)調査の有効性を検討した。LB及びTB調査により多数のHCV感染患者が同定されたが、PHへの届出はほとんど効果がなく、LBまたはTB調査開始の遅延を招いた。
18	C型肝炎	Vox Sanguinis 2007; 92: 297-301	反復ドナーがHCV陽性を示したため、過去の供血血液を調査したところ、同ドナーの濃縮赤血球を輸血されたレシピエントにおいてHCVが検出された。分子学的解析により輸血によるHCV感染と確定された。ドイツでNATスクリーニング導入後の濃縮赤血球による初めてのHCV感染例である。HCVの感染伝播は個別献血血液検体のNATを実施しても発生する可能性がある。
19	C型肝炎	共同通信 2007年11月14日	C型肝炎ウイルスの混入した輸血用血液が日赤の検査をすり抜けて提供され、輸血を受けた50歳代女性が感染したと思われる事例が、2007年11月14日、厚生労働省の血液事業部会運営委員会で報告された。厚生労働省によると、NATが導入された1999年以降、HCVの検査すり抜けはほぼなくなったが、完全にゼロにすることは困難という。2003、05、06年にも1例ずつ、すり抜けが報告されている。
20	C型肝炎、HIV感染	BMC Public Health 2007; 7: 7	イングランドおよびウェールズ(E&W)における現行の国家サーベイランスシステムによりHIV感染MSM(男性と性交する男性)間のC型肝炎の性的伝播をモニターすることが可能であるかを検討した。1996-2003年の間に38,027例のC型肝炎診断が報告されたが、HIV感染とマッチングした結果、重感染と診断されたMSM数は31例のみであり、推定数680例より少なかった。E&WでHIV感染MSM間の性的伝播C型肝炎をモニターするためには、より強化されたサーベイランスが必要である。
21	C型肝炎、HIV感染	J Infect Dis 2007; 196: 230-238	1984-2003年のアムステルダムコホート研究に参加した男性同性愛者(MSM)1836名をHCV抗体についてスクリーニングしたところ、HIV陽性MSMにおけるHCV発生率は0.18/100人年であったが、HIV陰性MSMでは0/100人年であった。2000年以降、HIV陽性男性間のHCV発生率は10倍の0.87/100人年に増加した。ハイリスクな性行動を行うHIV陽性MSMは性的に獲得されるHCVのリスクであることを示唆している。